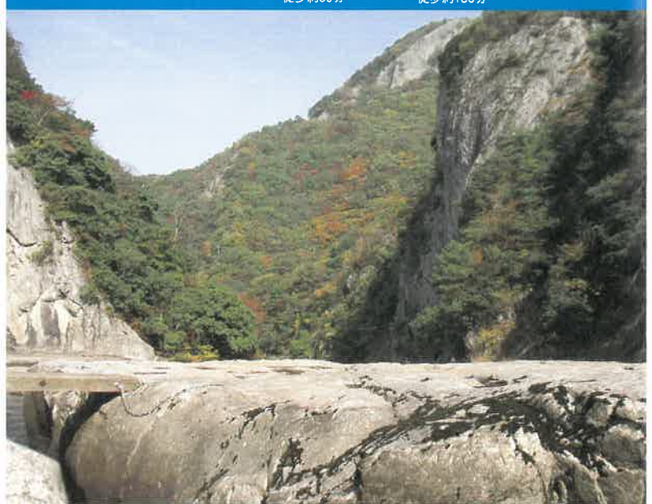
8 中国自然歩道 断魚渓・千丈渓コース　令和5年11月改訂版

断魚渓周遊/千丈渓/観音滝 モデルコース

断魚渓駐車場 ⇄ 約1.3km 徒歩約60分 ⇄ **日和** ⇄ 約4.8km 徒歩約130分 ⇄ **江尾**



断魚渓の千畳敷

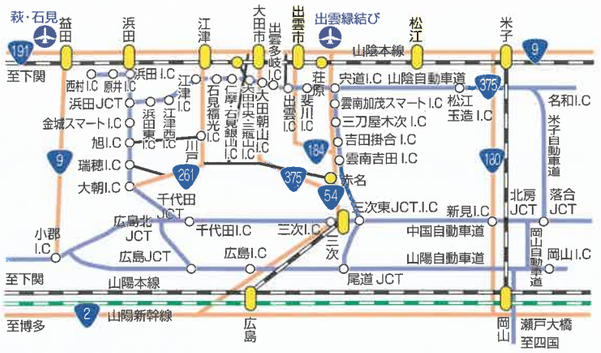
コースの概要

■中国自然歩道　断魚渓・千丈渓コース

江の川流域を通過するこのコースには、急峻な地形とあいまって渓谷が発達しています。特に、断魚渓、千丈渓は飛瀑(滝)と深淵がおりなす渓谷景観が有名であり、すぐれた風景地として県立自然公園にも指定されています。

このコースの散策、探勝は四季折々の趣を楽しむことができますが、春の新緑、秋の紅葉はまた格別です。

交通アクセス



■公共交通機関による <バスの本数は少ないので注意>

出雲縁結び空港～JR出雲市駅(連絡バス約25分)
【断魚渓へ】JR出雲市駅～JR大田市駅(特急約30分)～断魚渓バス停(バス約1時間40分)
【千丈渓へ】JR出雲市駅～JR江津駅(特急約60分)～川戸バス停(バス約35分)
※川戸バス停から公共交通機関なし(タクシー有り)

萩・石見空港～JR益田駅(連絡バス約15分)～JR江津駅(特急約60分)
【千丈渓へ】JR江津駅～川戸バス停(バス約35分)
※川戸バス停から公共交通機関なし(タクシー有り)
【断魚渓へ】JR江津駅～道の駅かわもとバス停(バス約60分)
～断魚渓バス停(バス約15分)　※石見交通バスから、おおなんバスへ乗り換え

山陽方面から
【断魚渓へ】広島バスセンター～断魚渓バス停(特急バス約2時間)　※本数は少ない
【千丈渓へ】広島バスセンター～道の駅インフォメーションセンターかわもと(バス約1時間45分)
～川戸バス停(バス約30分)　※川戸バス停から公共交通機関なし(タクシー有り)

■自家用車による <冬季は冬用タイヤが必要となることがありますので注意してください>

【松江、鳥取方面から】
山陰自動車道(出雲I.C)～国道9号┬大田市街から県道46号、31号、40号～国道261号～断魚渓
└江津市街から国道261号～県道41号～千丈渓

【益田、萩方面から】
国道9号～国道261号┬県道41号～千丈渓
└断魚渓

【山陽方面から】
浜田自動車道┬瑞穂I.C～県道327号、7号～国道261号～断魚渓
└旭I.C～県道329号、41号～千丈渓

注意事項

自然歩道を歩くときはマナーを守り、安全第一で利用してください

- あらかじめ距離、時間、交通機関などを調べ、余裕のあるスケジュールを立てましょう。
- 通行止区間や熊などの危険がないか等、観光案内所で最新情報を確認しましょう。
- 天気予報や雲の動きに注意し、天候が悪いときは歩行を控えましょう。
- 岩場や木道はすべりやすいので十分注意しましょう。特に降雨後は細心の注意が必要です。
- 路上に転石や枯枝が見られる場所などでは、立ち止まらず、落石・落枝に注意して通行しましょう。
- 崖崩れや倒木で通行が難しいときは、無理せず元来た道を引返し、次に歩く人のために、観光案内所に状況をお知らせください。
- 動植物を傷つけないようにしましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 車道区間は、中国自然歩道の標識があまり整備されていませんので、お手持ちの地図や道路標識等でルートをご確認ください。
- 降雨により河川の水位が急激に上昇することがあるので、上流域の天候に注意してください。

中国自然歩道の12コース(37モデルコース)をパンフレットで紹介しています。

No.	コース名称	No.	コース名称
1	美保関・大平山コース	7	石見銀山街道コース
2	朝日山・一畑寺コース	8	断魚渓・千丈渓コース
3	鰐淵寺・大社・立久恵コース	9	浜田海岸コース
4	宍道湖・斐川・雲南コース	10	大麻山・龍雲寺・双川峡コース
5	鬼の舌震・吾妻山コース	11	匹見峡・安蔵寺山コース
6	三瓶山麓コース	12	津和野コース

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)、数値地図25000(地名・公共施設)及び数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号　平21業使、第717号)
このパンフレットを複製又は転載する場合は国土地理院長の承認が必要になります。

問い合わせ先

島根県　自然環境課
〒690-8501 松江市殿町128番地
TEL 0852-22-6172　FAX 0852-26-2142
ホームページ 検索 島根県自然環境課
E-mail:shizenkankyo@pref.shimane.lg.jp

シライトソウ

印刷用の紙にリサイクルできます

バス会社の連絡先

【出雲空港連絡バス】
☎0853-21-1144
出雲一畑交通(HP有り)

【萩石見空港連絡バス】
☎0856-24-0080
石見交通　益田営業所(HP有り)

【大田市～断魚渓のバス、広島市～断魚渓のバス】
☎0854-82-0662
石見交通　大田営業所(HP有り)

【JR江津駅～千丈渓のバス、道の駅インフォメーションセンターかわもと～千丈渓のバス】
☎0855-27-2211
石見交通　浜田営業所(HP有り)

タクシー会社の連絡先

次の観光案内所等にお問い合わせください。

【江津市観光協会】
☎0855-52-0534(HP有り)
【一般社団法人邑南町観光協会】
☎0855-95-2369(HP有り)
【道の駅インフォメーションセンターかわもと】
☎0855-72-1111
(川本町観光協会HP有り)

便利情報

■このモデルコースや周辺の最新情報、宿泊施設の情報については、次の観光案内所等へお尋ねください。

・江津市観光協会　☎0855-52-0534
(URL:https://gotsu-kanko.jp/)

・一般社団法人邑南町観光協会　☎0855-95-2369
(URL:https://ohnan-kanko.com/)

・道の駅インフォメーションセンターかわもと　☎0855-72-1111
(川本町観光協会URL:https://www.kawamoto-kankou.jp)

下流(江津市側)駐車場(トイレ有り)
トイレ横で林道と中国自然歩道は分岐する。(車両通行止)

駐車場(歩道入口)
①から200mほどのところにある。

三三(さんさん)滝
②から400mほど平坦な道を進むと、歩道の山手に見ることができる。

地図1　千丈渓モデルコース

上流(邑南町側)駐車場(トイレ有り)
渓谷の上流側起点。ここからコースを進む場合、しばらく林道(車道)が続くが、途中から車両通行禁止になっているため、ここに駐車した方がよい。

一の滝
林道下に見える3段の滝は壮観。

歩車道分岐点
林道は①駐車場につながっている。林道には上からの渓谷の眺望を楽しめる。(車両通行止)

白藤滝・紅葉滝
白藤滝は渓中最も美しいといわれ、滝の幅が下部が狭くなっているのが特徴的。紅葉滝は、滝の正面にある白藤橋から間近に見ることができる。

魚切(うおきり)
大岩の間を急流が走り、魚類にとって関門となっている。木道を歩くときは滑らないように注意しましょう。

相生滝
この周辺では、コースの中で最も渓谷らしい気分を満喫できる。

千畳敷
相生滝の上流部に開ける平坦部で、休憩するにはもってこいの場所である。

大淵
淵の深さは渓中一番。流れ込む滝の長さは10m。写真は渓谷の上を通る林道からの眺め。

おしどり淵
オシドリを見かけることもある静かな淵。

歩車道分岐点
駐車場から町道を横断したところに歩道入口がある。歩道は渓谷に向かって下り階段が続く。

神楽(かぐら)淵
吊り橋を渡って上流に歩くと見ることができる。左岸側にそそり立つ絶壁は迫力がある。

神社前を通過する。

千畳敷の脇に歩道がある。

水路を渡るときには注意が必要。

歩道分岐点

連理ヶ瀑(れんりがだき)
歩道沿いの休憩所から、対岸に流れている姿を見ることができる。

地図2　断魚渓周遊モデルコース

断魚渓駐車場
トイレ、公衆電話がある。5月には一面に咲くツツジを楽しめる。

渓谷の眺望
断魚渓駐車場横の町道を南に50mほど進むと、千畳敷を一望できる。

千畳敷
峡底一面に大岩盤が露出しており、その表面は彫刻刀で削ったような様をしている。川は岩盤を浸食し、幅1～2mの自然の水路となって、千畳敷を分断するように流れている。水路には木の橋が架かっている。

断魚橋

嫁ヶ淵
歩道の下に眺めることができる。淵から100mほど登ると⑨に到着する。

歩車道分岐点
断魚渓駐車場までは200m、深篠川キャンプ場駐車場までは200m。

千畳敷につながる歩道入口。

深篠川(ふかしのがわ)キャンプ場
国道261沿いにある駐車場から深篠川に架かる橋を渡るとキャンプ場がある。施設では、テントサイト、ファイヤーサークル、炊事場、トイレがある。お問い合わせ先:断魚開発組合☎090-3376-9725

深篠川キャンプ場駐車場
国道261号沿いにあり、トイレも利用できる。